

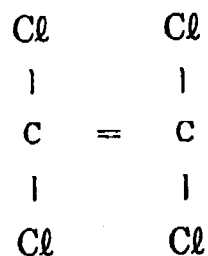
## 分 解 度 試 験 報 告 書

1. 試 料 名            テトラクロロエチレン  
                         ( 試料 № K - 17 )

分 子 式             $C_2Cl_4$

分 子 量            165.8

構 造 式



同 定            IRスペクトル            ( 図-5参照 )  
                         GC-MSスペクトル        ( 図-6参照 )

性 状

外 観            無色液体

融 点 \*            - 19 °C

沸 点 \*            121.2 °C

比 重 \*            1.656

純 度 \*            99% 以上 (                      特級試薬使用 )

溶 解 性

対 水 10 ppm 以下 ( TOC 計による )

対 n-ヘキサン 2000 ppm 以上

\* 共立出版化学大辞典による

2. 試験期間 昭和59年1月5日～昭和59年3月10日

3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号	} <微生物等による化学物質の分解度試験>による
薬 発 第 615 号	
49 基 局 第 392号	

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

- (1) 微 生 物 源：標準活性汚泥 30 ppm
- (2) 供試物質濃度：100 ppm
- (3) 試 験 液 量：300 ml
- (4) 試 験 期 間：28日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 揮発性物質用改良型

(c) 試料の採取

供試物質をマイクロシリンジで18.0μl分取し各培養ビンに添加した。  
比重を1.66とすると、各培養ビンへの添加量は29.9mgとなる。

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況
仕 込 時	試料は攪拌により分散した。
終 了 時	試料は分散状態で存在し、汚泥の増殖は認められなかった。

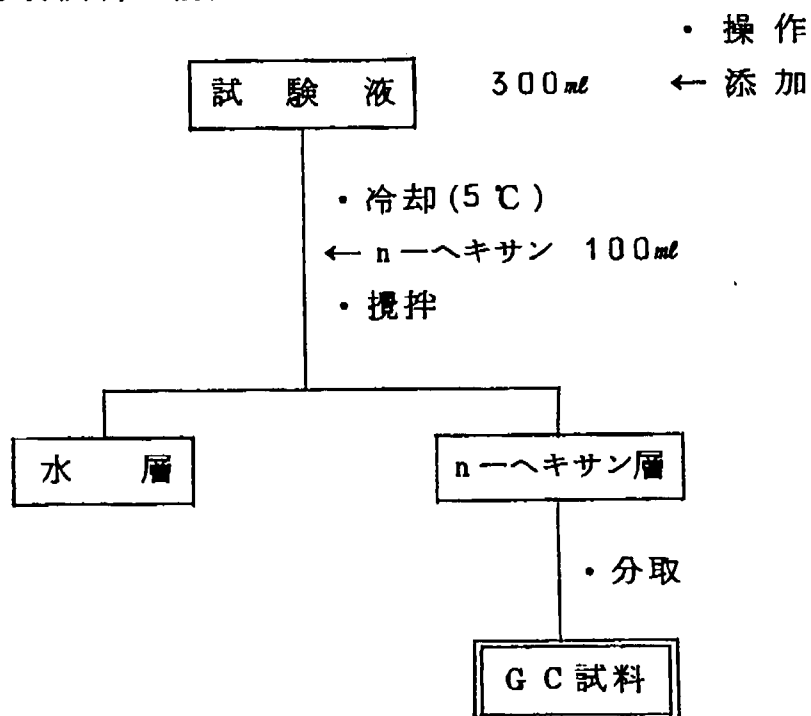
### 3.2 直接定量分析

#### (a) 使用分析機器及び条件

##### ガスクロマトグラフ

型 式	島津 GC 9 A
検 出 器	F I D
カ ラ ム	1 m × 3 mm $\phi$ , ガラス
固 定 相	
液 相	15% T C P
担 体	クロモソルブ WAW
カラム温度	80 $^{\circ}$ C
キャリアガス	N <sub>2</sub>

#### (b) 分析試料の前処理



#### 4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	11	図 - 1	表 - 1
G C に よ る 結 果	0	図 - 2	表 - 2

7 日目のアニリンの分解度 85% ( 図 - 1 , 表 - 1 参照 )

以 上